

国土交通省

道 任 第 827 号

19.5.31



平成19年5月8日

国土交通省道路局長 様

佐久穂町長 佐々木定男



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について(送付)

平成19年4月2日付で依頼のありました標記の件について別紙のとおり送付します。よろしくお願ひします。

平成 19 年 5 月 7 日  
長野県南佐久郡佐久穂町

・重点化を進める上で特に優先度の高い政策

道路政策は、高速道路から生活道路に至るまで、快適な環境、暮らしの実現のため、まだまだ住民からの要望が山積している状況です。

特にわが町において、最も重要なポイントにあげられるのが、中部横断自動車道の全線開通であります。この道路は、佐久市から静岡市までの 150 km 区間で、日本海と太平洋を結ぶとともに、東名、中央、関越、北陸の各自動車道と結ぶことにより、北関東自動車道、東関東自動車道とも連結され、関東大環状連携軸を構成するものです。

中部横断自動車道によって、茨城、千葉、静岡さらには中京圏と、今までに無い流通交易が活発化することが期待され、この地域の活性化に大きく貢献することとなるでしょう。また、中部横断自動車道沿線は医療過疎地域であるため、この道路が救急救命道路としての役割を持ち、さらには交通障害時の緊急輸送道路としての役割も担うこととなります。

地域の活力ある発展のためには、地域間の交流・連携を強化する高規格道路網の整備は必要不可欠なものであります。

・効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

公共交通網の発達した都市部と違い、車に頼ることの多い地域では、日常生活に支障なく、車による安全で快適な移動を確保しなければなりません。しかし、限られた財源の中で、投資効果の早期発現を目指すには、住民からの意見をしっかりと吸い上げ地域の特性をしっかりと把握し、路線の選択、区間の整備目的等を明確にして事業箇所重点化、集中化を図って行く必要があります。

道路整備の円滑化、効率化につながる計画的事業執行が求められています。

・その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

投資力の減少に伴い、限られた財源で道路の建設、維持を行うことは難しいので、道路と地域とが一体となってより良い地域づくり、まちづくりを推進するため、NPO やボランティア活動等といった民間活力の導入が、ますます重要になってくると思われます。

道路行政に対する民間活力の導入について検討を進めるべきです。